

# くすりのしおり

注射剤

2023年06月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**製品名：アーウィナーゼ筋注用 10000**

**主成分：**クリサンタスパーゼ (Crisantaspase)

**剤形：**注射剤

**シート記載など：**



## この薬の作用と効果について

L-アスパラギンを分解し枯渇させることにより、がん細胞におけるタンパク質合成を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。

通常、急性白血病や悪性リンパ腫の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肺炎を起こしている、または過去に起こしたことがある。凝固異常がある、または過去に起こしたことがある。糖尿病である。骨髄抑制がある。感染症にかかっている。肝障害がある。
- ・妊娠または授乳中。妊娠している可能性がある。
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、週3回、筋肉内に注射します。
- ・具体的な使用期間については担当の医師にお聞きください。
- ・液量や状態によって、複数箇所に分けて注射されることがあります。

## 生活上の注意

- ・妊娠する可能のある人は、この薬を使用している間および使用終了から一定期間は避妊をするようにしてください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、頭痛、吐き気・嘔吐、発熱、背部痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・寒気がする、息苦しい、じんま疹 [過敏症]
- ・強い腹痛、背中の痛み、吐き気・嘔吐 [肺炎]
- ・鼻血、歯ぐきの出血、あおざがができる [凝固異常]
- ・発熱、鼻血、頭が重い [骨髄抑制]
- ・疲れやすい、体がだるい、食欲不振 [肝機能障害]
- ・体重が減る、喉が渇く、多飲多尿 [高血糖]
- ・発熱、寒気、体がだるい [感染症]
- ・意識の低下・消失、記憶力の低下、口のもつれ [脳症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

SI①